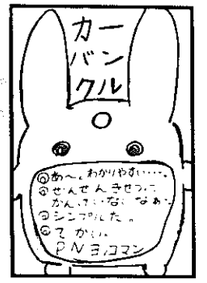
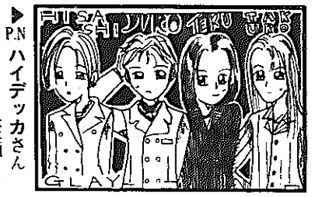
イラスト倶楽部

♥イラストははがきに黒一色ではっきりと。淡い鉛筆書きはボツにします。
◆ペンネーム希望の人も住所、氏名、年齢を忘れずに。採用分には謝品を進呈。
◆締め切りは毎月15日。それ以降に届いたものは翌月に回します。
◆あて先　〒950－12　白根市大字白根1235　白根市役所広報・ふれあいイラスト係



▲P.N ヨッコマンさん（白井・9歳）

▶P.N 環さん（西笠巻新田）



▶P.N ハイデッカさん（庄瀬6）

▲P.N 剛のもみあげさん（大郷）

市民文芸

俳句

佐渡航路今日も欠航日蓮忌　　紫沢　飛浪
谷越えて棚田時雨の移りゆく　　猪股　南魚
大釜にどどとぶち込み蟹を煮る　　公條　雪夫
ていねいに枝の細かき障子貼る　　樋口　トシ
嫁飢餓泡立草の夏延りし　　田部　余白
潮騒の方へ傾き石蕗の花　　豊木サダ子
亡き人の写真そのまま冬座敷　　木村　トリ
県庁舎真直に見え冬日和　　笠原　里津
初雪はづんで飛んで転げけり　　古川　綾
日暦を切らずじまいに松の内　　間島喜代子
読み初めの栞の細道たどりたし　　真島つぎえ
年神の祝膳とて一の蜻　　小林　なお
注連作る土間の一灯低くして　　小林富沙子
初東風や安全帽の紐固く　　金子　千代
初東風や舞ふかごとくに巫女の来る　　遠藤　大成
初東風や山襞深き一の宮　　塚本　静子
着膨れて安らしさを忘れをり　　田中美根子
初東風に塩辛声の浜鴨　　丸山　虚秋

短歌

朗々と走いの音吐の高まりて
詩吟の謝胸に迫り来　　阿部　テイ
降り季に雪積むこともまたよしと
肯ないて聞く齢となれり　　佐藤　ケイ
群雀群なすままに弧を描きて
夕べの森に吸いこまれゆく　　村山　和江
志す業まだ成らず時は命
すこやかにして遂げたしと念う　　出来島ミサホ
寒き日に塩びっしりと腹に持ち
やわく重たき鮭ときたり　　大旅　イツ
サルビアの一輪二輪咲き残り
北風寒き師走となれ　　翔　淑子
出征の日この旗たすきに勇みたち
日の丸見れば無数の虫痕　　小出熊四郎
八十となりて心は若けれど
窓にうつりし姿あわれむ　　小出よしの
やすらかな心で過すと賀状受け
老人ホームの知人気づかう　　吉田ミノル
冬装う大樹群青の空を指す
枝間を結び航雲の延ぶ　　中村　京

川柳

愚痴ひとつ涙と流す仕舞風呂　　佐藤　ヨキ
失敗を許さぬ律儀な裁ち鋏　　田村　恒夫
健康法の一つか多数派へ回る　　高橋祐四雄
禅譲を笑い損ねた鬼も居る　　中村　尚治
メリハリを孫から貰う日々平和　　西条　ムラ
許す気になって別れがつらくなる　　山岡　フミ
しんがりで笑い袋を持つゆとり　　吉川　彰
独身をつらぬき花の芯を抜く　　今井　七郎
病む妻と一緒に押そう発車ベル　　緞田　福治
古希の胸にまだ炎え残るこぼれ萩　　緞田　セツ
初孫のもみじの手に酔う祝膳　　大谷　龍吉
東大を出ても名医と限らない　　後藤マサノ
感傷をいっぱい詰めた旅鞄　　佐藤トミノ
使い捨てカメラで撮った愛もある　　今井八重子

広報クイズ

【応募方法】　はがきに答え、住所、氏名、年齢、ご意見を書いて白根市役所広報係（〒950－12　白根市大字白根1235）へ。締め切りは2月15日㈭（必着）。正解者の中から抽選で5人に500円の図書券を、3人に県立自然科学館招待券をペアで差し上げます。

【問題】
❶平成9年に開所される特別養護老人ホームの名前は？（ヒント＝3ページ）
A＝しなの園　B＝さくら園　C＝しろね園
❷中央公民館で活動している団体の数は？（ヒント＝12ページ）
A＝34　B＝43　C＝44
❸21世紀に65歳以上になる割合は何人に1人？（ヒント＝17ページ）
A＝4人　B＝5人　C＝6人

【当選おめでとう】先月の正解は❶B❷C❸Aでした。【図書券】広野美代子（大郷）　相沢栄子（大通南）　加藤正吉（水道町）　竹内ナツエ（臼井）　綿貫菜美子（新生町）　【自然科学館招待券】金田まり子（古川）　関根理矢（茨曽根）　高橋香代子（大通南）

今月のハガキから

○男の料理教室に、私の父も参加。腕を磨きに行ってきました。その後、しょっちゅうお刺身デーです。（Y）
○もうすぐ十カ月になるわが家の双子。とにかく一日中が戦争です。お姉ちゃんのときは、そんなでもなかったのに…。さすが男の子です。これって幸せかな。（M）
○県外に住んでいるのですが、白根に帰ってくるとほっとして、帰りたくなくなります。白根を出て初めて白根っていいところだなあと感じました。また白根に住みたいよー。（H）

Talk&Talk

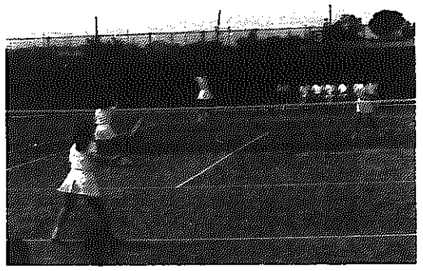
市民談話室

日ごろ考えていることや身の回りの出来事などを、500字程度にまとめて投稿してください。紙面の都合上、若干手直しさせていただくこともあります。あて先は広報広聴係（〒950－12　白根市大字白根1235　白根市役所企画財政課）です。

テニスコートで汗を流してみませんか

尾竹真弓（古川団地）

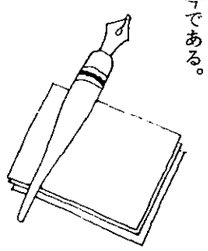
白根市に素晴らしいテニスコートが完成して、もうすぐ二年がたとうとしています。私は、利用者の一人で、テニスコートへ行くと、子供からご年配までの方まで、生き生きとやっています。土・日曜日はほとんどコートが空いていないくらい、利用者が増えています。市の方でも「初級テニス教室」や「市民大会」などの催しを行って、愛好者を増やしてくださっています。最近は、主婦の人たちが健康のためにやりたいと言って、ラケットを握って子供のようにコートを駆け回っています。その姿を見ると、二～三歳若く見えるほどです。わきで子供が「お母さんかっこいい。頑張って」と応援してくれています。いつかは、応援してくれている子供とダブルスができたらなあと思っています。そして、いろいろな人と会話をしたり、プレーをしたり、これからも素晴らしいテニスコートでエンジョイするつもりです。健康や美容のために何かを始めたいと思っている皆さん、ぜひ一緒にテニスをやりませんか。市のテニス協会は、少しでも白根の底辺を広げようといろいろ考えています。親子で始めたら、ジュニア育成にもつながります。将来、有望な選手が白根から出るかもしれません。何はともあれ、一度素晴らしいテニスコートで汗を流してみませんか。



思い出すことなど

市嶋久男（四ツ興野）

昨年の十月の末、卒業五十年を期して同期会を開催し、久しぶりに恩師を囲んで歓談した。卒業の年にクラス主任だった先生が、当時我々が書いた作文と昭和十九年の七月から終戦までの学徒勤労動員時代の教官日誌を保管しておいてくださった。それと併せて今度の会に間に合わせて各自がその後の動静やら感想など幹事役のもとへ提出しておいたものが印刷・製本されて、全員に配布された。

当時学徒出陣に際して、大勢の人から寄せ書きをしてもらった日の丸をたすき掛けにして出掛けたものだが、出席した仲間の中にも、それを大事に保存していたものを持参したり、汗や油にまみれた勤労動員時代の腕章を持ってきた者もいたりした。それらをさかなにして、飲むほどに大爆笑になったり、妙なところで感心したりして例年になく盛り上がった会合であった。宴果てるに及び、特攻出撃寸前に終戦となり危うく生き延びた男の発声で「海行かば」を斉唱して散会したことであった。

今、書籍や新聞などにたくさんの有名人の回顧録や日記などが刊行されているが、我々ごとき名もない庶民の記録なども残しておけば、まだ学生の孫たちが我々の年代になって、本棚の隅からこんな記録を引っ張り出して読んでくれるかも知れない。読んだらどんな感想を持つだろうと想像しながら、「永久保存」と朱書きして保存しようと思っている。それにしても文中、今や死語となりかけた「学徒動員」だの「特攻出撃」など注釈がいるなと思って、年老いた義母の世話をしながら当時の新聞や書籍をたよって注釈を作っている昨今である。